

●○○○-----
○○○
●○ そらいろ通信 ～EPO-Chubu メールマガジン～176号(2024.2.13)
○
発行:環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)
中部地方 ESD 活動支援センター ○
監修:環境省中部地方環境事務所 ○●
○○○
-----○●○●

能登半島地震から1ヶ月 北陸の復興に向けて

本年1月1日の令和6年能登半島地震の発災から、1か月が経過しました。被災した方々にお悔やみ申し上げるとともに、残念にも亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災した地域の皆様の懸命な取り組み、政府あげての支援、全国からの様々な応援によりまして、生活インフラの復旧や、被災された方々の支援等は一定程度進んでおりますが、被災地では今なお、多くの方々が厳しい避難生活を余儀なくされています。一方、学校の再開やなりわい、の復旧復興に向けたニュースも目にするようになりました。

環境省としても、発災当初からし尿処理や廃棄物の処理をサポートするため、職員を石川県庁及び能登半島の市町にプッシュ型で現地に派遣しております。災害廃棄物の処理へと進みますが、中部はじめ全国からの支援をいただきつつ、取り組んでまいります。

2月に入り、石川県では創造的復興に向けた検討を開始されているとうかがっています。3月には、北陸新幹線も福井県まで延伸し、北陸全体としても、震災の危機を乗り越え、未来に向けて新しい出発の機運が高まっているのではないのでしょうか。

環境省、中部地方環境事務所といたしまして、震災の危機を乗り越え、脱炭素、循環経済、自然復興が相まって元気な地域づくりのお役に立てるよう、いろいろな声を聴いてお手伝いしたいと思います。よろしく願いいたします。

中部地方環境事務所長 小森 繁

♪*♪*♪* -----
【締切明日】令和6年度地域循環共生圏づくり支援体制構築事業参加団体公募
----- ♪*♪*♪*

環境省は、各地域における地域循環共生圏づくりを強力に推進するため、各地域において、地域循環共生圏づくりに取り組む地方公共団体、民間団体又は協議会（以下、「活動団体」という。）及び活動団体に対して地域循環共生圏づくりの中間支援を行う団体等（以下、「中間支援主体」という。）を募集します。
※活動団体と中間支援主体のセットが、本事業の「参加団体」となります。

詳細：https://www.env.go.jp/press/press_02641.html

(公募要領・応募申請書類等も掲載)

公募実施期間：2024年1月16日(火)～2月14日(水)17:00まで(必着)

対 象：地域循環共生圏づくりに取り組む地方公共団体、民間団体又は協議会(＝活動団体)及び活動団体に対して地域循環共生圏づくりの中間支援を行う団体等(＝中間支援主体)。なお、活動団体及び中間支援主体は共同で応募申請書を作成した上で、申請者は中間支援主体とします。

選定件数：各地方環境事務所等(北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、四国、九州、沖縄奄美)につき3件程度

事業規模：1参加団体当たり(＝中間支援主体及び活動団体合計)、200万円(税込、採択1～2年目)、400万円(税込、採択3年目)を上限として、請負者が中間支援主体及び活動団体の取組に要したそれぞれの経費を負担します。

事業年度：事業実施期間については、原則単年度とします。

応募方法：公募要領に従って、所定の方法で提出してください。

《参考》

○地域循環共生圏ポータルサイト

<http://chiikijunkan.env.go.jp/>

○環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム Facebook

<https://www.facebook.com/LocalSDGsplatform.env>

○第五次環境基本計画

https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/plan/plan_5.html

♪*♪*♪*

【締切間近】気候変動の課題解決に取り組む学生ワークショップを開催

♪*♪*♪*

環境省は、「気候変動の課題解決に取り組む学生ワークショップ」に参加する大学生及び大学院生を募集しています。

詳 細：https://www.env.go.jp/press/press_02649.html

開催日時：2024年3月13日(水)12:30～3月17日(日)15:30めど

※スケジュールは変更の可能性があります。

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

実施形態：対面のみで実施

主なスケジュール：

- 有識者、企業関係者等からの基調講演
- 脱炭素に取り組む企業等との現地見学や意見交換
- グループ内での討論
- 提言の発表(最終日)

参加費：1万5000円(食費(一部)及び宿泊費)

テ ー マ：

次の(1)～(4)の4つのサブテーマグループの中から、参加したいグループの

優先順位を選んでいただきます。

- (1) 地域脱炭素の計画と実施
- (2) 電力分野の気候変動対応への方策
- (3) 鉄鋼業の気候変動対応への方策
- (4) 持続可能なサプライチェーンにおける認証

《募集要項》

応募資格：大学生及び大学院生

募集人数：50名（申込多数の場合、抽選により参加者を決定）

応募締切：2024年2月15日（木）17：00

応募方法：下記webページから応募フォームに回答の上、送信

<https://www.eic.or.jp/eic/topics/2024/info/002/>

*5日間通して参加できる方を募集します。

問合せ（事務局）：

一般財団法人 環境イノベーション情報機構

TEL：03-5209-7102

メール：workshop@eic.or.jp

♪*♪*♪*

シンポジウム「気候変動×生物多様性による豊かな地域づくり
～食と環境の未来を中心に～」の開催

♪*♪*♪*

環境省は国連大学サステナビリティ高等研究所との共催で、シンポジウム
「気候変動×生物多様性による豊かな地域づくり～食と環境の未来を中心に～」
を開催します。

詳細：https://www.env.go.jp/press/press_02698.html

開催日時：2024年2月29日（木）14：00～17：00

開催場所：オンライン開催

定員：500名（事前申込先着順）

プログラム（予定）：

○主催者・共催者挨拶

○講演「世界と日本における持続可能な食と環境の最新動向」

内田東吾氏（一般社団法人イクレイ日本 事務局長）

竹本明生氏（国連大学サステナビリティ高等研究所 プログラム・ヘッド）

農林水産省及び環境省から国内動向事例を紹介

○事例紹介「わが国における食と環境の未来を考える」

(1) 株式会社脱炭素化支援機構

株式会社坂ノ途中

(2) コープデリ生活協同組合連合会

(3) 公益財団法人八木町農業公社

○パネルディスカッション

「食と環境の課題解決を通して実現する豊かな地域とは」
モデレーター：藤田香氏（東北大学グリーン未来創造機構／
大学院生命科学研究科教授兼、日経 ESG シニアエディター）
パネリスト：事例紹介登壇者

○総括

武内和彦氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)理事長、東京大学未来
ビジョン研究センター 特任教授、国連大学サステナビリティ高等研究所 客員教授）

参加申込：<https://e-partnership.jp/>

申込締切：2024年2月28日（水）17：00

問 合 せ：

シンポジウム事務局

いであ株式会社

メール：sympo_jimu@e-partnership.jp

♪*♪*♪*

【採用情報】環境省中部地方環境事務所で職員を募集しています。

♪*♪*♪*

環境省中部地方環境事務所では、5月1日から働いていただける任期付き職員の
募集を始めました。ご興味のある方の応募をお待ちしております。

詳 細：https://chubu.env.go.jp/topics_00117.html

職務の内容：地域における地球温暖化による気象現象によってもたらされる
社会生活や健康への影響に係る対策等の普及や検討の業務に従事します。

応募締切：2024年2月19日（月）（必着）

♪ も く じ ♪

【イベント関連】

1. 脱炭素・生物多様性に関するフォーラム
2. 【岐阜】たじみ環境フェア 2024
3. 【岐阜】第23回可児市環境フェスタ
ストップ地球温暖化！～繋げよう、地球を救う優しい気持ち～
4. 【岐阜】御嵩町環境フェア 2024
5. 【福井】私たちが気候危機をくい止める最後の世代！
～私から始める脱炭素革命～（講演会）
6. 【長野】SDGs フォーラム in 信州上田
「みんなで捉えろ！気候変動と生物多様性」
7. 【愛知】藤前干潟サイエンスカフェ 2024
8. 【愛知】開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム 2024

9. 【愛知】生物多様性サポーターフォーラム
10. 【長野】「くらしふとカンファレンス 2024」
～出会い、語らい、共創する信州らしいゼロカーボン社会～
11. 【愛知】講演会「動物とヒトとの共存—そのために私たちに何ができるか?—」
12. 【愛知】なごや環境大学 SDGs セミナー
生物多様性とサブカルチャーの世界
13. 【三重】2023 年度 SDGs ミニフォーラム
みんなで話し合おう 自然エネルギーのこれから
14. 【愛知】藤前干潟「ガタレンジャーJr. 2024」参加者募集
15. 【愛知】「SDGs と環境教育を学ぶ」講演会

【ツール・コンテンツ】

1. 【富山】動画「ごみ問題を学ぼう」を制作

【助成金・表彰等】

1. 公益信託地球環境日本基金 2024 年度 募集
2. 2024 年度 緑の募金助成 公募事業 募集
3. 令和 6 年度「緑と水の森林ファンド」公募事業 募集
4. 2024 年度自然体験活動支援事業
第 23 回トム・ソーヤースクール企画コンテスト
5. あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業
2024 年度交付対象事業企画提案 募集【愛知】
6. 2024 年信州エコ大賞 候補募集【長野】

♪イベント関連♪

1 | 脱炭素・生物多様性に関するフォーラム

セブン-イレブン記念財団は、設立 30 周年事業として「脱炭素・生物多様性に関するフォーラム」を開催します。

詳細：https://www.facebook.com/7midori.org?locale=ja_JP

開催日時：2024 年 2 月 15 日（木）13：00～18：00（受付開始 12：30～）

開催場所：東京ポートシティ竹芝ポートスタジオ（東京都港区）

主な内容：

○基調講演「人は自然の一部である～人と自然との共生とは～」

洪沢寿一氏

○ゲストパネラー発表&フロアディスカッション

○パネルディスカッション&総括

定 員：会場参加（120 名様・先着順）

リモート参加（300名様・先着順）

参加申込：

<https://ws.formzu.net/sfgen/S725134290/>

問合せ：

セブンイレブン記念財団フォーラム事務局

（株式会社スプレ・エィディー）

TEL：03-3560-8229

メール：7midori@homme.co.jp

【2】【岐阜】たじみ環境フェア 2024

たじみ環境フェア 2024 を開催します。環境に関するパネル展示や体験コーナーなどを通じて、身近な環境を楽しく学べます。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

詳細：<https://www.city.tajimi.lg.jp/kurashi/kankyo/fair.html>

開催日時：2024年2月18日（日）9：30～15：30

開催場所：ヤマカまなびパーク（岐阜県多治見市）

主な内容：わくわく体験コーナー、環境活動発表会、展示コーナー、
団体・企業・学校の環境活動紹介パネル

問合せ：

多治見市役所環境課

TEL：0572-22-1175

当日携帯：080-8012-3979

【岐阜】第23回可児市環境フェスタ 【3】ストップ地球温暖化！～繋げよう、地球を救う優しい気持ち～

環境パートナーシップ・可児（可児市環境フェスタ実行委員会）は、「第23回可児市環境フェスタ」を開催します。

詳細：<https://www.city.kani.lg.jp/22851.htm>

開催日時：2024年2月18日（日）9：00～15：00

開催場所：広見地区センター（岐阜県可児市）

主な内容：

環境に関するセミナー

○地球温暖化と食

講師：岩井辰水氏（河川環境楽園 自然発見館）

- 可児市の希少植生物
- 講師：可児市生涯学習コーディネーターの会
- 小中学校の動画発表や展示発表
- 参加団体による展示・体験ブース
- 環境ポスターや環境川柳の展示 など

問 合 せ：
可児市環境課
TEL：0574-62-1111

| 4 | 【岐阜】御嵩町環境フェア 2024

御嵩町は「環境フェア 2024」を開催します。
テーマは「みんなでエコタイム」です。

詳 細：<https://www.town.mitake.lg.jp/event/calendar/news0068070/>

開催日時：2024年2月25日（日）9：00～12：30
開催場所：御嵩小学校体育館・中庭（岐阜県可児郡御嵩町）
主な内容：
○環境モデル都市交流体験プロジェクト報告会（DVD上映）
○町内団体や企業による環境に関する取組展示
○町内の小中高校生のみなさんによる環境学習成果展示
○各種体験コーナー、クイズラリー など

問 合 せ：
御嵩町役場環境モデル都市推進室
TEL：0574-67-2111

| 5 | 【福井】私たちが気候危機をくい止める最後の世代！ ～私から始める脱炭素革命～（講演会）

福井ライフ・アカデミーは、「私たちが取り組む脱炭素」についての講演会を開催します。今回は、堅達京子氏（NHK エンタープライズエグゼクティブ・プロデューサー）にご講演いただきます。世界は今、気候危機の真ただ中の中にいます。私たちは、それをくい止めることができる「最後の世代」です。そのためにはどうすればよいのでしょうか。世界の潮流と日本の課題を踏まえ、今、私たちができることを考えます。

詳 細：
<https://www2.pref.fukui.lg.jp/press/view.php?cod=Q5bb6F1701386791Bf>

開催日時：2024年2月23日（金・祝）14：00～15：30
開催場所：福井県生活学習館（ユニー・アイ ふくい）映像ホール
YouTube 同時配信も行います。
対象：県民どなたでも
定員：会場 先着 60 名／YouTube 同時配信 先着 50 名
申込締切：2024年2月22日（木）

問合せ：
福井ライフ・アカデミー本部（事務局：福井県生涯学習センター）
TEL：0776-41-4206
メール：f-manabi@pref.fukui.lg.jp

「長野」SDGs フォーラム in 信州上田
| 6 | 「みんなで捉えろ！気候変動と生物多様性」

長野県環境保全研究所は、上田市・筑波大学山岳科学センターと共同開催で「みんなで捉えろ！気候変動と生物多様性」を開催します。

詳細：
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/jisseki/koza/gakushukoryu2023.html#shizenkoza>

開催日時：2024年2月23日（金・祝）10：10～15：00
開催場所：上田市サントミュージゼ 大ホール（長野県上田市）
参加申込：現地参加は申込不要（飛び込み参加歓迎）
オンライン参加は、参加申込フォームより参加登録
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScRya6Udw90qnAo57xt6f5pvhCrw1kUrbEqf4qZFUomHSDvCA/viewform>

主な内容：

- 《午前の講座：まだまだ知らない気候変動のお話》
- ・気候変動入門：私たちはどうなる？どうする？
 - ・信州の気候はどう変化？
 - ・みんなの情報で将来の気候変動からライチョウを守る！
 - ・信州の味噌からみえる気候変動の影響
 - ・質問タイム
- 《午後の講座：生物多様性の育て方～人と自然が共生する信州上田～》
- ・上田の身近な自然の魅力～高原・ため池・山城の草原再生～
 - ・シャトー・メルシャン 梶子ヴィンヤードにおける生物多様性と「30by30」
 - ・質問タイム

問合せ：
長野県環境保全研究所自然環境部
TEL：026-239-1031 FAX：026-239-2929

【 7 】 【愛知】 藤前干潟サイエンスカフェ 2024

藤前干潟サイエンスカフェ 2024 を開催します。化石をきれいに保存する丸い石、天然のタイムカプセル「球状コンクリーション」のナゾを解こう！

詳細：<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000161773.html>

開催日時：2024年2月24日（土）14：00～15：30

開催場所：環境省稲永ビジターセンター（名古屋市港区）

講師：吉田英一氏（名古屋大学博物館館長・教授）

対象：小学校4年生以上（小学生は保護者同伴）

定員：40名（応募者多数の場合は抽選）

申込締切：2024年2月17日（土）

問合せ：

藤前干潟ふれあい事業実行委員会

TEL：052-223-1067

メール：ecopal@n-kd.jp

【 8 】 【愛知】 開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム 2024

JICA 中部・JICA 北陸は、「開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム 2024—ヒントが見つかる！仲間に出会える！—」を開催します。

詳細：

https://www.jica.go.jp/domestic/nagoya-hiroba/exhibition/1527635_23419.html

開催日時：2024年2月25日（日）10：00～15：50

開催場所：JICA 中部 なごや地球ひろば（名古屋市中村区）

プログラム（予定）：

《午前の部》

○教師海外研修報告

○実践33事例のポスターセッション

《午後の部》

○実践体験ワークショップ

主な対象：開発教育・国際理解教育の実践手法を知りたい方、環境・共生・平和・開発・人権などのテーマやESD、SDGsに関心がある方、ファシリテーターやワークショップ、アクティブラーニングに関心のある方、JICA 中部の開発教育関連の研修に参加してみたい方、その他どなたでも参加できます。

定員：午前の部100名、午後の部70名（申込み先着順）

申込締切：2024年2月24日（土）

問 合 せ :

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

TEL : 070-5333-5566 FAX : 052-766-6440

メール : nied@love-hug.net

【 9 】 【愛知】 生物多様性サポーターフォーラム

愛知県は、あいち生物多様性サポーター登録者や自然環境に関心のある県民、事業者等を対象とした「生物多様性サポーターフォーラム」を開催します。

詳 細 :

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/seibutu-forum.html>

開催日時 : 2024 年 3 月 2 日 (土) 13 : 30~16 : 00

開催場所 : イオンモール Nagoya Noritake Garden 3 階 イオンホール
(名古屋市西区)

定 員 : 150 名 (申込先着順)

主な内容 :

○県の挨拶・取組発表

○劇団シンデレラによる公演

演題 : SDGs と生物多様性「シンデレラひめ うみへいく」

○基調講演

演題 : 動物たちはこんなふうには絶滅していた！？

～でもどうして絶滅させてはいけないの？～

講師 : 丸山貴史氏 (図鑑制作者)

○パネルディスカッション

テーマ : 暮らしの中から、生き物とのつながりを見つけよう！

申込期限 : 2024 年 2 月 25 日 (日)

問 合 せ :

愛知県環境局環境政策部自然環境課

TEL : 052-954-6475

メール : shizen@pref.aichi.lg.jp

【長野】「くらしふとカンファレンス 2024」
【 10 】 ～出会い、語り、共創する信州らしいゼロカーボン社会～

くらしふと信州 (ゼロカーボン社会共創プラットフォーム) は、「くらしふとカンファレンス 2024」を開催します。

詳 細 :

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/happyou/r60131press.html>

開催日時：2024年3月2日（土）10：30～19：30※交流会含む

開催場所：長野市生涯学習センターほか

参加方法：会場参加（定員150名）・オンライン参加（定員なし）

参加費：無料（交流会は希望者のみ・参加費2,000円）

主な内容：

○基調講演／トークセッション

・導入「いま改めて知りたい気候危機の現在地」

・キーノートセッション「200万県民のゼロカーボン～「くらしふと」で

実現するウェルビーイングな信州～」

○分科会

(1)太陽光と市民参加

すべての屋根に太陽光を！ゼロカーボンを広めるメッセージのつくり方

(2)まちづくりと共創

幸福度と脱炭素、両輪駆動のまちづくり～信州独自のスタイルを模索する～

(3)自治体とエネルギー自立地域

自治体から挑戦する地域密着型ゼロカーボン～「エネルギー自立地域づくり」

現場の知見をシェア～

○越境／共創ピッチ

A ○○×ゼロカーボン～異なる分野・切り口からのチャレンジ～

B エネルギー自立地域マッチング エネルギー自立地域マッチング～自治体＋企業～

○振り返り・まとめ

申込締切：2024年2月22日（木）15：00

* 先着順（定員に達し次第、受付終了）

参加申込：<https://www.kurashi-futo-shinshu.jp/conference2024/>

問 合 せ：

長野県環境部環境政策課

TEL：026-235-7169

メール：kurashifuto@pref.nagano.lg.jp

「【愛知】講演会「動物とヒトとの共存—そのために私たちに何が出来るか?—」

3月3日世界野生生物の日に、東山動植物園は、名古屋市立大学との共催で「動物とヒトとの共存—そのために私たちに何が出来るか?—」をテーマに講演会を行います。

詳 細：

<https://www.higashiyama.city.nagoya.jp/news/2024/01/post-1036.html>

開催日時：2024年3月3日（日）13：00～14：30

開催場所：東山動植物園 動物会館内レクチャーホール
（名古屋市千種区）

定 員：80名（先着順）どなたでもご参加いただけます。

※動植物園の入園料は別途必要です。

講演プログラム：

(1) 動物園にできること：つり橋プロジェクト

(2) 動物園から世界につながる—ユキヒョウを例に—

参加申込：<https://forms.gle/Lrj2ZFUKRmc57o5a9>

問 合 せ：

名古屋市東山動植物園

TEL：052-782-2111

【愛知】なごや環境大学 SDGs セミナー

| 12 | 生物多様性とサブカルチャーの世界

アニメやSFなどを代表とする日本の誇るサブカルチャーワールド。楽しくも非現実的に思えるこの世界も、深読みしていくと未来の人間社会に向けての警告や、自然界との共存の尊さがメッセージとして込められています。

NHK「クローズアップ現代」やフジテレビ「全力！脱カタイムズ」でおなじみの国立環境研究所 五箇公一先生をお招きし国立環境研究所ならではの最新の研究情報とともにサブカルチャーの世界から生物多様性をひもといていきます。

詳 細：<https://www.n-kd.jp/event/detail?t=2023s&c=A-19>

開催日時：2024年3月9日（土）14：00～16：00

開催場所：鯉城ホール（名古屋市中区）

講 師：五箇公一氏

（国立環境研究所生物多様性領域生態リスク評価・対策研究室／室長）

参加費：無料

定 員：300名（先着）

申込締切：2024年3月4日（月）

主 催：「なごや環境大学」実行委員会

後 援：環境省中部地方環境事務所

申込み・問合せ：

「なごや環境大学」実行委員会

TEL&FAX：052-223-1223

メール：jimu@n-kd.jp

【三重】2023年度SDGsミニフォーラム

| 13 | みんなで話し合おう 自然エネルギーのこれから

三重県環境学習情報センターは、2023年度SDGsミニフォーラム「みんなで話し

合おう 自然エネルギーのこれから」を開催します。

詳 細 :

https://www.eco-mie.com/sponsored_courses/20240320sdgsminiforum/

開催日時 : 2024 年 3 月 20 日 (水・祝) 13 : 40~16 : 30

開催場所 : 三重県総合文化センター 中研修室 (三重県津市)

内 容 :

○話題提供

「自然エネルギーによる小規模・分散型・地域循環システムの展望」

講師 : 坂本竜彦氏 (NPO 法人地域資源ネットワークみえ副理事長)

○グループセッション

テーマ「再生可能な自然エネルギー供給システムの可能性」

ファシリテーター : 新海洋子氏 (一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事)

募集人数 : 30 人 (16 歳以上) ※応募多数の場合、抽選

申込締切 : 2024 年 2 月 21 日 (水)

問 合 せ :

三重県環境学習情報センター

TEL : 059-329-2000 FAX : 059-329-2909

メール : info@eco-mie.com

14 | 【愛知】藤前干潟「ガタレンジャーJr. 2024」参加者募集

特定非営利活動法人藤前干潟を守る会は、「ガタレンジャーJr. 2024」(環境学習プログラム)に参加する新小学4年生~中学3年生を募集しています。

詳 細 : <https://fujimae.org/>

開催日程 : 2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで (全 6 回のプログラム)

開催場所 : 藤前干潟活動センター、稲永ビジターセンター (名古屋市港区)

対 象 : 新小学 4 年生~中学 3 年生で、原則、すべてのプログラムに参加できる人

内 容 : 干潟体験、キャンプ、自由研究、ヨシ原とカニ・カモ観察、交流会

募集人数 : 12 名 (先着順)

応募締切 : 2024 年 3 月 24 日 (日)

※定員に達した場合は、締め切り前に募集を打ち切る場合もあります。

参 加 費 : 5,000 円 (通信費、保険料、キャンプの食費など)

問 合 せ :

特定非営利活動法人藤前干潟を守る会

メール : junior@fujimae.org (応募先)

| 15 | 【愛知】「SDGs と環境教育を学ぶ」講演会

みらい人材ゼミナール合同会社は、「SDGs と環境教育を学ぶ」講演会を開催します。

中部地方 ESD 活動支援センター（EPO 中部）の原が講演します。

SDGs や環境教育を学ぶ絶好の機会です。ぜひご参加ください！

詳細：<https://mirasemi.com/>

開催日時：2024 年 3 月 1 日（金）17：00～17：30

開催方法：YouTube ライブによる配信／アーカイブ配信

対象：お子様がいらっしゃる保護者、教育関係者、一般生活者

講演者：原理史（中部地方 ESD 活動支援センター責任者（EPO 中部）、

中部大学中部高等学術研究所国際 ESD・SDGs センター研究員）

参加費用：無料

参加登録方法：登録フォームによる参加登録（下記リンクより）

<https://www.jicoo.com/t/hgPKyrZXOG4W/f/VVGxMYMWB6EP>

問合せ：

みらい人材ゼミナール合同会社

メール：company@mirasemi.com

♪ツール・コンテンツ♪

| 1 | 【富山】動画「ごみ問題を学ぼう」を制作

富山市は、ごみ問題について考えるため、動画「ごみ問題を学ぼう」を制作しました。動画のテーマは、「なぜごみを減らす必要があるのか？」、「分別された資源物がどのような製品生まれ変わるのか？」の 2 部構成となっています。ぜひご視聴ください。

詳細：

<https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/gomi/1010246/1014184/index.html>

問合せ：

富山市環境部環境センター

TEL：076-429-5017

♪助成金・表彰等♪

1 | 公益信託地球環境日本基金 2024 年度 募集

公益信託地球環境日本基金は、2024 年度（令和 6 年度）の募集を実施しています。

詳細：<http://www.koueki-jtge.jp/>

助成対象：つぎの事業を行なう団体もしくは個人

- (1) 開発途上地域における地球環境の保全に資する調査・研究事業
- (2) 開発途上地域における地球環境の保全に資する情報・知識の普及に関する事業（国際協力に関する活動等を含む）
- (3) 開発途上地域における地球環境保全に資する植林、森林保護、野生生物保護（生物多様性の保全に資するものも含む）、砂漠化防止等の事業

助成金交付予定額：

総額 1,600 万円を交付予定（助成対象件数 10 件程度）

うち 1,030 万円は野生生物保護（生物多様性の保全に資するものも含む）、

森林保護、砂漠化防止に特定して交付

申請締切：2024 年 2 月 16 日（金）必着

問合せ：

一般財団法人地球・人間環境フォーラム（運営協力機関）

メール：jtge@gef.or.jp iinuma@gef.or.jp

2 | 2024 年度 緑の募金助成 公募事業 募集

緑の募金では、森づくりや人と自然がつながる社会づくりを応援しています。

詳細：<https://www.green.or.jp/bokin/>

対象活動：森林ボランティア、里山保全団体及び NPO 等による以下の活動

- (1) 国内外の森と人を元気にする活動
- (2) 地球の緑を増やし、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献する活動
- (3) 森づくりのリーダーを育てる活動
- (4) 森や里山で子どもたちを育むことができる活動

事業の種類：

○一般公募事業

森林整備、緑化推進、国際協力

○次世代育成公募事業

次世代の森づくりを担う人材育成事業

○特別公募事業

つながる、つなげる、子ども若者応援事業
スギ等森林の有効活用支援事業
○都道府県緑推推薦事業
子どもたちの未来の森づくり事業
応募期間：2024年2月1日（木）～3月15日（金）

問 合 せ：
公益社団法人国土緑化推進機構
TEL：03-3262-8457 FAX：03-3264-3974
メール：m-bokin@green.or.jp

「
| 3 | 令和6年度「緑と水の森林ファンド」公募事業 募集
」

国土緑化推進機構では、幅広い民間の非営利団体等の主体的・多様な参加による「国民参加の森林づくり」運動の推進を図るため、「緑と水の森林ファンド」事業の公募を実施します。

詳 細：<https://www.green.or.jp/news/fund2024-recruitment/>

助成対象：民間の非営利団体
非営利の法人
個人（調査研究に限る）
助成対象事業：次のような活動に助成します。

- (1) 普及啓発
森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動
 - (2) 調査研究
地域材の利用・山村資源の有効活用や森林の公益的機能の増進に係る調査研究
 - (3) 活動基盤の整備
森林づくり活動を通じた農山村と都市住民等との交流促進
 - (4) 国際交流
国内で開催される森林に関する国際会議への支援、海外情報の収集
- 助成金の限度：団体 100 万円、個人 70 万円
募集期間：2024年2月1日（木）～3月15日（金）
郵送の場合は当日消印有効

問 合 せ：
公益社団法人国土緑化推進機構
TEL：03-3262-8457 FAX：03-3264-3974
メール：forest@green.or.jp

「
| 4 | 2024年度自然体験活動支援事業
| 4 | 第23回トム・ソーヤースクール企画コンテスト
」

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団は、「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」を主催し、全国からユニークで独創性に富んだ自然体験活動の企画案を公募します。選考の上、50団体に実施支援金10万円を贈呈します。

詳細：<http://www.shizen-taiken.com/contest2024/2024infof.html>

内容：小中学生が概ね10人程度参加する自然の中での体験活動であれば、ジャンルは問いませんが、ユニークさと独創性にあふれ、高い教育効果が得られる活動を募集します。

対象団体：

○学校部門

小学校・中学校または、小中学校より委託・協力・協働等によって当該活動を主催する団体。

小学校、中学校において授業や課外活動の一環として行われる活動で、小中学生が各回概ね10名程度が参加する企画で、学校長の承認を受けたもの。

○一般部門

定款・規約等が整備され、組織としての形態を有し、当該活動を主催する団体。小中学生が各回概ね10名程度が参加する企画であること。

応募期間：2024年2月1日（木）～5月17日（金）

問合せ：

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団

「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」事務局

TEL：072-752-4335 FAX：072-752-2473

メール：info-foundation@ando-zaidan.jp

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業
| 5 | 2024年度交付対象事業企画提案 募集【愛知】

愛知県は、あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の対象となる企画提案を募集します。

詳細：

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2024morizeikikakubosyu.html>

対象団体：NPO、ボランティア団体、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、自治会、私立学校等（愛知県内に活動の拠点を置く、団体構成員自らが活動を行う5人以上の団体であることが必要です。）及び市町村

対象事業：

- (1) 森・緑の育成活動事業
- (2) 水と緑の恵み体感事業
- (3) 森林生態系保全の学習事業
- (4) 太陽・自然の恵み学習事業

(5) 独自提案による環境保全活動・環境学習事業

募集期限：2024年3月1日（金）17：30 必着

問 合 せ：

愛知県環境局環境政策部環境活動推進課

TEL：052-954-6240

メール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

【 6 】 2024 年信州エコ大賞 候補募集【長野】

一般社団法人長野県環境保全協会は、長野県内で環境保全に貢献し実績顕著な個人、団体、企業に贈る「2024年信州エコ大賞」の候補を募集します。

詳 細：<https://nace.main.jp/ecogp/2024/01/29134532/>

表彰対象：

- ・信州エコ大賞は、長野県内に於いて環境保全に貢献し実績顕著な個人、団体、企業に贈ります。
- ・過去に選考外となったものも再度、推薦対象とします。

賞の種類：

- 「信州エコ大賞」及び「奨励賞」…個人・団体を対象
- 「信州エコ大賞企業賞」…企業を対象

募集締切：2024年4月1日（月）各支部必着

問 合 せ：

一般社団法人長野県環境保全協会

TEL：026-237-6620 FAX：026-238-9780

メール：nace@janis.or.jp

【本メールマガジンについて】

本メールマガジンは、転送自由です。

○申込・解除：<https://www.mag2.com/m/0000233904.html>

○バックナンバー

そらいろ通信 ～EPO-Chubu メールマガジン

<https://www.epo-chubu.jp/mail-magazine>

発信元：

環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

中部地方 ESD 活動支援センター

TEL：(EPO) 052-218-8605 / (ESD) 052-218-9073

FAX：052-218-8606 メール：info@epo-chubu.jp

URL : (EPO) <http://www.epo-chubu.jp>

(ESD) <http://chubu.esdcenter.jp/>

〒460-0003 名古屋市中区錦 2-4-3 錦パークビル 4F
